

東大阪政心会

学校の福祉的機能の拡充
— 学校の福祉的機能の拡充について —
問 私はずっと子どもたちに関わ

る課題が複雑化、多様化している今日において、学校から部活動などを切り離すのではなく、もともと備わっていた学校の福祉的機能

を拡充させることのほうが、教員にも保護者にも違和感なく受け入れられると思う。例えば、一定規模以上の学校にはスクールソーシャル

ワーカーを常駐させる、教員の目が行き届く学級編制にする等、そこに予算と人員を投じること、子どもたちが安心して学習と生活

の両面で親身になってくれる大人と出会えるのではないかと考えるがどうか。
教育長 今後とも教員以外の専門家の力を活用し、教育

と福祉の連携をすすめる、教員がより一層その専門性を活かし、子どもが元気に学校生活を送れる学校環境づくりを進めていきたい。

新社会会党

個人質問 松平 要

市民の信頼を回復するため、行政の不退転の覚悟を強く求める！

— 災害時のアスベスト対策について —
問 市内にアスベスト建築物が存続する中で火災や地震などの災害時における周辺のアスベストの飛散と住民の安全対策について、どのように考えているのか。

広報活動等に有効に活用できると考えている。
— ごみ収集車の運転中の喫煙について —
問 去る3月3日の朝、パークカー車両に関して市民よりお叱りの通報があり、内容は運転手のくわえタバコであった。時まさに市民税納税の時期であることから、こんなだらしない市に税金を納めたくないと言われている。市民の信頼を回復するための行政側の不退転の覚悟が委託業者に対して示されていないことが、こうした事態が繰り返される何よりの原因と断じざるを得ないが当局の考えを示せ。

— マスク着用の自由について —
問 他市では、マスク着用、黙食を改定された市も多々聞き及んでおり、児童生徒が本来の姿で過ごすために本市も各市に続けるよう子どもの置かれている状況を理解し、真摯に向き合っていたきたい。新年度では児童生徒をはじめ、保護者や教師の方々が混乱するのではないよう、いち早く、このことを知らせるべきである。関係省庁におけるマスク着用の取扱いについての発表を踏まえ、本市の教育機関の児童生徒や保護者に対し、マスク着用の自由、黙食の緩和を発信するよう強く求めるが、当局の見解を問う。

— 特定業者からの金品の授受について —
問 令和4年12月議会における個人質問や建設水道委員会での市長総括において、市長の答弁を聞いてる市民の方々から意見をいただいた。その内容は、何故はっきりと答えられないのか、答弁をはぐらかされているなど。おおむね市長は自分が行っていることは黒なのではないかという感想ばかりであった。50万都市の代表としてしっかりと答えるべきである。市長は特定の業者に便宜を図ったことや、それに伴い品物を受け取ったことではないのか。また、お金を受け取ったこともないのか。

— 人権啓発について —
問 3月1日現在でブルリボンを守る会へ1507議員の賛同を賜り、これを受けて国会の拉致議連に役員会開催の依頼要請を行った。私が総務会長を務めるウイグル議連では、東大阪を含む100以上の議会で意見書採択を賜り、衆参両院での対中国非難決議の採択に寄与し、省庁や警察対応を含む新たな要望書を提出した。また、12月末にウイグル文化の展示や料理にて文化歴史を知る会に出席して、日本ウイグル協会、国会議員連盟と会議をしたが、ウイグルの現状は日本でも起り得ることであり、改めて、でき得る支援をと思つた。人権尊重のまちづくり条例の改正を今議会に提案した市として、人権についてもっと幅広く知ってもらうための工夫を問う。

— ヤングケアラーについて —
問 ヤングケアラーを丁寧に見つけることが必要不可欠で、最大の支援につながる。門真市は、研修を受けた見守り役が就学時間に学外で服装が季節はずれなどの違和感を察知したら市へ情報提供をするシステムを構築している。家庭のセンシティブな部分に踏み込むのは難しいが、それゆえに理解を広げるため有効な取組みだと考えるが見解を問う。
子どもすこやか部長 市民や学校等に気づきの視点を持っていたらできるよう研修等で周知を進め、今後も引き続き把握方法を検討する。

草莽の会

個人質問 樽本 永史

市民に説明責任を果たすため、政治家は勇気と真心をもって真実を語るべき！！

— マスク着用の自由について —
問 他市では、マスク着用、黙食を改定された市も多々聞き及んでおり、児童生徒が本来の姿で過ごすために本市も各市に続けるよう子どもの置かれている状況を理解し、真摯に向き合っていたきたい。新年度では児童生徒をはじめ、保護者や教師の方々が混乱するのではないよう、いち早く、このことを知らせるべきである。関係省庁におけるマスク着用の取扱いについての発表を踏まえ、本市の教育機関の児童生徒や保護者に対し、マスク着用の自由、黙食の緩和を発信するよう強く求めるが、当局の見解を問う。

— 特定業者からの金品の授受について —
問 令和4年12月議会における個人質問や建設水道委員会での市長総括において、市長の答弁を聞いてる市民の方々から意見をいただいた。その内容は、何故はっきりと答えられないのか、答弁をはぐらかされているなど。おおむね市長は自分が行っていることは黒なのではないかという感想ばかりであった。50万都市の代表としてしっかりと答えるべきである。市長は特定の業者に便宜を図ったことや、それに伴い品物を受け取ったことではないのか。また、お金を受け取ったこともないのか。

— 人権啓発について —
問 3月1日現在でブルリボンを守る会へ1507議員の賛同を賜り、これを受けて国会の拉致議連に役員会開催の依頼要請を行った。私が総務会長を務めるウイグル議連では、東大阪を含む100以上の議会で意見書採択を賜り、衆参両院での対中国非難決議の採択に寄与し、省庁や警察対応を含む新たな要望書を提出した。また、12月末にウイグル文化の展示や料理にて文化歴史を知る会に出席して、日本ウイグル協会、国会議員連盟と会議をしたが、ウイグルの現状は日本でも起り得ることであり、改めて、でき得る支援をと思つた。人権尊重のまちづくり条例の改正を今議会に提案した市として、人権についてもっと幅広く知ってもらうための工夫を問う。

— ヤングケアラーについて —
問 ヤングケアラーを丁寧に見つけることが必要不可欠で、最大の支援につながる。門真市は、研修を受けた見守り役が就学時間に学外で服装が季節はずれなどの違和感を察知したら市へ情報提供をするシステムを構築している。家庭のセンシティブな部分に踏み込むのは難しいが、それゆえに理解を広げるため有効な取組みだと考えるが見解を問う。
子どもすこやか部長 市民や学校等に気づきの視点を持っていたらできるよう研修等で周知を進め、今後も引き続き把握方法を検討する。

東大阪翔の会

個人質問 野田 彰子

市民にもっと幅広く人権について知ってもらおうための工夫を！！

— 人権啓発について —
問 3月1日現在でブルリボンを守る会へ1507議員の賛同を賜り、これを受けて国会の拉致議連に役員会開催の依頼要請を行った。私が総務会長を務めるウイグル議連では、東大阪を含む100以上の議会で意見書採択を賜り、衆参両院での対中国非難決議の採択に寄与し、省庁や警察対応を含む新たな要望書を提出した。また、12月末にウイグル文化の展示や料理にて文化歴史を知る会に出席して、日本ウイグル協会、国会議員連盟と会議をしたが、ウイグルの現状は日本でも起り得ることであり、改めて、でき得る支援をと思つた。人権尊重のまちづくり条例の改正を今議会に提案した市として、人権についてもっと幅広く知ってもらうための工夫を問う。

— ヤングケアラーについて —
問 ヤングケアラーを丁寧に見つけることが必要不可欠で、最大の支援につながる。門真市は、研修を受けた見守り役が就学時間に学外で服装が季節はずれなどの違和感を察知したら市へ情報提供をするシステムを構築している。家庭のセンシティブな部分に踏み込むのは難しいが、それゆえに理解を広げるため有効な取組みだと考えるが見解を問う。
子どもすこやか部長 市民や学校等に気づきの視点を持っていたらできるよう研修等で周知を進め、今後も引き続き把握方法を検討する。

— 災害時のアスベスト対策について —
問 市内にアスベスト建築物が存続する中で火災や地震などの災害時における周辺のアスベストの飛散と住民の安全対策について、どのように考えているのか。
現に消火活動に当たる消防士のアスベストによる健康被害の実例が多く報告されており、近隣の火災の際にそれがアスベストを含む建物かどうか、マスク着用の必要があるのかどうかなどの住民への迅速で正確な情報提供が求められると考えるがどうか。そのためにはデータを保有する建築部と消防などの関連部署の普段からの情報共有と災害時の連携が必要だと考えるがどうか、見解を問う。

— ごみ収集車の運転中の喫煙について —
問 去る3月3日の朝、パークカー車両に関して市民よりお叱りの通報があり、内容は運転手のくわえタバコであった。時まさに市民税納税の時期であることから、こんなだらしない市に税金を納めたくないと言われている。市民の信頼を回復するための行政側の不退転の覚悟が委託業者に対して示されていないことが、こうした事態が繰り返される何よりの原因と断じざるを得ないが当局の考えを示せ。

— マスク着用の自由について —
問 他市では、マスク着用、黙食を改定された市も多々聞き及んでおり、児童生徒が本来の姿で過ごすために本市も各市に続けるよう子どもの置かれている状況を理解し、真摯に向き合っていたきたい。新年度では児童生徒をはじめ、保護者や教師の方々が混乱するのではないよう、いち早く、このことを知らせるべきである。関係省庁におけるマスク着用の取扱いについての発表を踏まえ、本市の教育機関の児童生徒や保護者に対し、マスク着用の自由、黙食の緩和を発信するよう強く求めるが、当局の見解を問う。

— 特定業者からの金品の授受について —
問 令和4年12月議会における個人質問や建設水道委員会での市長総括において、市長の答弁を聞いてる市民の方々から意見をいただいた。その内容は、何故はっきりと答えられないのか、答弁をはぐらかされているなど。おおむね市長は自分が行っていることは黒なのではないかという感想ばかりであった。50万都市の代表としてしっかりと答えるべきである。市長は特定の業者に便宜を図ったことや、それに伴い品物を受け取ったことではないのか。また、お金を受け取ったこともないのか。

— 人権啓発について —
問 3月1日現在でブルリボンを守る会へ1507議員の賛同を賜り、これを受けて国会の拉致議連に役員会開催の依頼要請を行った。私が総務会長を務めるウイグル議連では、東大阪を含む100以上の議会で意見書採択を賜り、衆参両院での対中国非難決議の採択に寄与し、省庁や警察対応を含む新たな要望書を提出した。また、12月末にウイグル文化の展示や料理にて文化歴史を知る会に出席して、日本ウイグル協会、国会議員連盟と会議をしたが、ウイグルの現状は日本でも起り得ることであり、改めて、でき得る支援をと思つた。人権尊重のまちづくり条例の改正を今議会に提案した市として、人権についてもっと幅広く知ってもらうための工夫を問う。

— ヤングケアラーについて —
問 ヤングケアラーを丁寧に見つけることが必要不可欠で、最大の支援につながる。門真市は、研修を受けた見守り役が就学時間に学外で服装が季節はずれなどの違和感を察知したら市へ情報提供をするシステムを構築している。家庭のセンシティブな部分に踏み込むのは難しいが、それゆえに理解を広げるため有効な取組みだと考えるが見解を問う。
子どもすこやか部長 市民や学校等に気づきの視点を持っていたらできるよう研修等で周知を進め、今後も引き続き把握方法を検討する。